

**新たに HLD LED 光源モデルを展開しラインアップを拡充
超短焦点プロジェクター “LH-WX370UST” など 4 機種を発売**

キヤノンは、「パワープロジェクター」シリーズの新製品として、高輝度化を実現する HLD (High Lumen Density) LED 光源を採用した超短焦点プロジェクター “LH-WX370UST” など 4 機種を、2020 年 2 月中旬より順次発売します。



LH-WX370UST



LH-WX500

新製品 4 機種は、キヤノンで初めて HLD LED 光源を採用した LCD (Liquid Crystal Display) パネル搭載のプロジェクターです。LED の光を効率よく活用することができる HLD LED 光源の採用により、高輝度化を実現するとともに、最長約 2 万時間^{※1}の光源寿命により光源交換のメンテナンス負荷を軽減できます。HLD LED 光源のプロジェクターをラインアップに加えることで、会議室や教室だけではなく、サイネージや空間演出へも活用でき、利用シーンの裾野を広げます。

■ 超短焦点投写により用途を拡大した “LH-WX370UST/LH-WU350UST^{※2}”

“LH-WX370UST/LH-WU350UST” は 3,500lm (ルーメン) クラスの超短焦点モデルです。反射ミラーを採用した本体設計により投写比 0.24:1 の超短焦点を実現しています。これにより、会議室の壁や教室の壁や黒板に近接して設置しても、約 80 型^{※3}の大画面を投写できます。さらに、床面の投写にも利用でき、サイネージやイベントといった空間演出などに活用の幅を広げます。

■ 高輝度 5,000lm と小型化を両立した “LH-WX500/LH-WU500^{※4}”

“LH-WX500/LH-WU500” は 5,000lm の小型モデルです。複数の青色 LED の光を筒状の蛍光体に集め、一点の出口から明るい黄色の光として出力する HLD LED 光源を採用することで高輝度化を実現しています。さらに HLD LED 光源から出力された黄色の光とは別に、独立した青色 LED 光源から出る光を併用することで光路を減らし、高輝度と大きさ約 392 (幅) mm × 129 (高さ) mm × 321 (奥行) mm の小型な筐体 (きょうたい) を両立しています。

製品名	希望小売価格	発売日
LH-WX370UST/LH-WU350UST	オープン価格	2020年2月中旬
LH-WX500/LH-WU500		2020年4月中旬

※1 目安であり、使用環境・状況により異なる場合があります。

※2 “LH-WX370UST” の解像度は WXGA (1,280×800 画素) で明るさは 3,700lm。“LH-WU350UST” は、WUXGA (1,920×1,200 画素) で 3,500lm。

※3 実際には壁から本体を約 0.3cm 離して投写した場合。投写距離は約 41cm。

※4 “LH-WX500” の解像度は、WXGA (1,280×800 画素)。“LH-WU500” は、WUXGA (1,920×1,200 画素)。

● 一般の方のお問い合わせ先 : キヤノンお客様相談センター

050-555-90071

● プロジェクターホームページ : canon.jp/projector

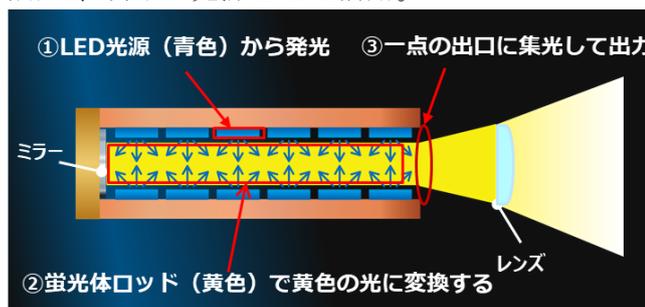
<LH-WX370UST/LH-WU350UST の主な特長>

1. HLD LED 光源による高輝化と長寿命化の実現

- ・“LH-WX370UST”の解像度は WXGA (1,280×800 画素) で明るさは 3,700lm。“LH-WU350UST”は、WUXGA (1,920×1,200 画素) で 3,500lm。
- ・直列に配置された複数の青色 LED の光を、黄色に変換する筒状の蛍光体 (蛍光体ロッド) に集め、一点の出口から明るい黄色の光として出力する HLD LED 光源を採用。一般的に拡散しがちな LED の光を効率よく利用し、明るい光源として活用。



一般的な LED 光源イメージ



HLD LED 光源イメージ

- ・HLD LED 光源の採用により、最長約 2 万時間の長寿命を実現し、高圧水銀ランプ※に比べ長時間の投写が可能であり、メンテナンス負荷が軽減。また、光源に水銀を使用しないため、環境にも配慮。

※ 従来機種「LV-WX300UST」(2015年6月発売)のランプ交換推奨時間 5,000 時間(ノーマルモードで使用したとき)と比較。

2. 超短焦点投写による用途の拡大

- ・反射ミラーを採用し投写比 0.24 : 1 の超短焦点を実現。会議室の壁や教室の壁や黒板に近接して設置しても約 80 型の大画面での投写が可能。登壇者がスクリーンの前に立っても光が目に入らないだけでなく、登壇者の影が映りにくい快適な投写環境を実現。狭い会議室や、机や備品を多く置いている学校の教室など十分な投写距離の確保が難しいスペースでも利用可能。
- ・床にレンズを向け床面へ縦置き投写することで、サイネージやイベントなどの空間演出にも活用でき、用途が拡大。



投写面に向けた投写イメージ



机に置いた投写イメージ

3. LCD パネル搭載による明るく鮮やかな投写を実現

- ・赤 (R)・緑 (G)・青 (B) の 3 枚の LCD パネルにマイクロレンズを追加することで光の利用効率を高め、明るさを向上させる光学システムを採用。キヤノンの色再現技術を生かしつつ、投写光のカラーバランスを向上させた 3 原色液晶シャッター投写方式により、明るく鮮やかな映像を投写可能。

4. 2 種類のフォーカス機能搭載で画像の周辺まで鮮明に投写

- ・センターフォーカスとコーナフォーカスの 2 種類のフォーカスを搭載。センターとコーナのフォーカスを個別に調整できるため、画面の周辺まで鮮明な画像を投写可能。

<LH-WX500/LH-WU500 の主な特長>

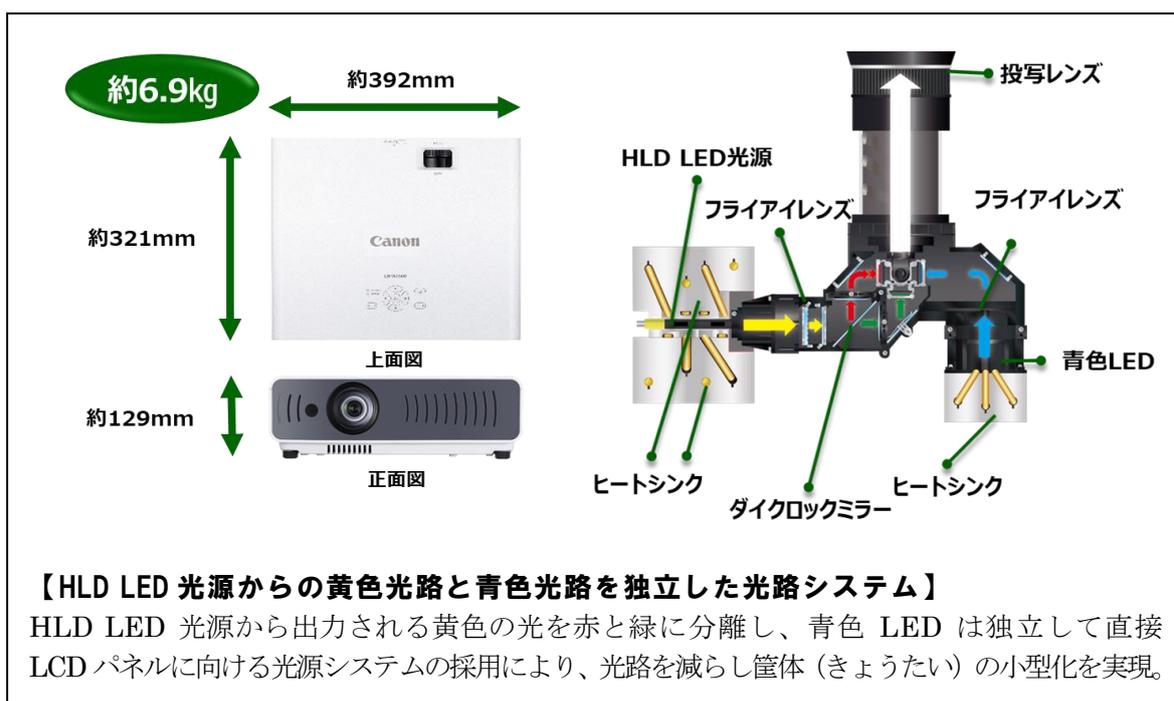
1. HLD LED 技術による高輝度化と長寿命化の実現

- ・“LH-WX500”の解像度は、WXGA (1,280×800 画素)。“LH-WU500”は、WUXGA (1,920×1,200 画素)。
- ・直列に配置された複数の青色 LED の光を、黄色に変換する筒状の蛍光体（蛍光体ロッド）に集め、一点の出口から明るい黄色の光として出力する HLD LED 光源を採用。一般的に拡散しがちな LED の光を効率よく利用し、明るい光源として活用。
- ・HLD LED 光源の採用により、最長約 2 万時間 の長寿命を実現し、高圧水銀ランプ※に比べ長時間の投写が可能であり、メンテナンス負荷が軽減。また、光源に水銀を使用しないため、環境にも配慮。

※ 従来機種「LX-MU500」（2016 年 1 月発売）のランプ交換推奨時間 2,000 時間（ノーマルモードで使用したとき）と比較。

2. 光路システムの小型化を実現

- ・HLD LED 光源から出力される黄色の光を赤（R）・緑（G）に分離するとともに、独立した青色 LED の光路（B）を設けることで、光路を減らし、大きさ約 392（幅）mm×129（高さ）mm×321（奥行）mm、質量約 6.9kg のコンパクト設計を実現。会議室から会議室への移動が容易。



3. LCD パネル搭載による明るく色鮮やかな投写を実現

- ・赤（R）・緑（G）・青（B）の 3 枚の LCD パネルにマイクロレンズを追加することで光の利用効率を高め、明るさを向上させる光学システムを採用。キヤノンの色再現技術を生かしつつ、投写光のカラーバランスを向上させた 3 原色液晶シャッター投写方式により、明るく鮮やかな映像を投写可能。

4. 携行性に優れた多彩な基本機能

- ・「H（左右方向）／V（上下方向）キーストーン補正」で投写映像を水平、垂直の両方向で補正可能。
- ・四隅を個別に調整することができる「4点キーストーン補正」搭載。
- ・教育機関の教室に多い黒板など、カーブのある投写面ひずみを見やすく調整する「湾曲補正^{※1}」を搭載^{※2}。
- ・高品質なデジタル映像信号・音声信号を1本のケーブルで伝送可能なHDMI端子を2つ搭載。さらに入力された音声信号を16W内蔵スピーカーから直接出力できるほか、LAN端子など豊富なインターフェースを搭載。
- ・USBメモリーをプロジェクターに挿入するだけで、USBメモリーに保存された映像や画像の投写が可能な「メモリービューワー機能^{※3}」を搭載。
- ・HDMIなどの映像出力端子がないコンピューターからでも、USBケーブルを使っての投写が可能な「USBディスプレイ機能^{※3}」を搭載。
- ・コンピューターの画面をネットワーク経由で投写可能な便利な「ネットワークディスプレイ機能」を搭載。

※1 全てのカーブした投写面の湾曲補正を保証するものではありません。

※2 LH-WU500は非対応。

※3 全てのUSBメモリーおよびUSBケーブルでの動作を保証するものではありません。

<プロジェクターの市場動向>

2019年の国内ビジネスプロジェクター市場規模は、約21万台で対前年と比較し微減でした。一方で、レーザー光源およびLED光源の高耐久性や高輝度化に対するニーズは高く、比率は年々高まっています。また、学校の授業や企業のプレゼンテーション、店舗でのサイネージなどの用途では、従来の3,000lmクラスからさらなる明るさや超短焦点といった特長のある製品が求められています。（キヤノン調べ）

<主な製品仕様>

製品仕様の詳細は、ホームページをご参照ください。

* HDMIは、HDMI Licensing Administrator, Inc.の商標または登録商標です。

* その他、記載されている会社名、製品・サービス名は一般に各社の商標または、登録商標です。